



平成31年2月1日

各 位

上場会社名 カネヨウ株式会社
 代表者 代表取締役社長 西野 幸信
 (コード番号 3209)
 問合せ先責任者 取締役職能担当 保坂 和孝
 (TEL 06-6243-6500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	300	230	160	113.75
今回修正予想(B)	14,000	180	190	130	92.42
増減額(B-A)	—	△120	△40	△30	
増減率(%)	—	△40.0	△17.4	△18.8	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	11,019	217	195	213	152.48

注)当社は平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っており、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり純利益」を算定しております。

修正の理由

羽毛原料事業や、寝装・インテリア事業が堅調なことに加え、出遅れていた中東諸国向けテキスタイル事業が牽引・貢献し、第3四半期累計売上高は第2四半期累計実績対比175%まで大幅に回復し、通期の売上高は当初予想を達成できる見通しです。

しかしながら、原料価格・物流コスト上昇に伴う仕入価格高騰分を販売価格に転嫁する事が遅れていることや、事業規模の拡張・基幹システムの刷新等、組織強化に伴う販売管理費が予想以上に増加したことから、営業利益は180百万円と当初予想を120百万円下回る見通しです。

一方、経常利益は利息収支や為替差損益の改善等(会計方針変更の影響を含む)により、当初予想を40百万円下回る範囲にとどまり、190百万円と前期業績水準を維持できる見通しです。

※本資料に記載されている予想数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上